

河道改修等の状況

令和8年6月19日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会
(水防連絡会 編)

■河道改修等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	13-3
---------------------------	------

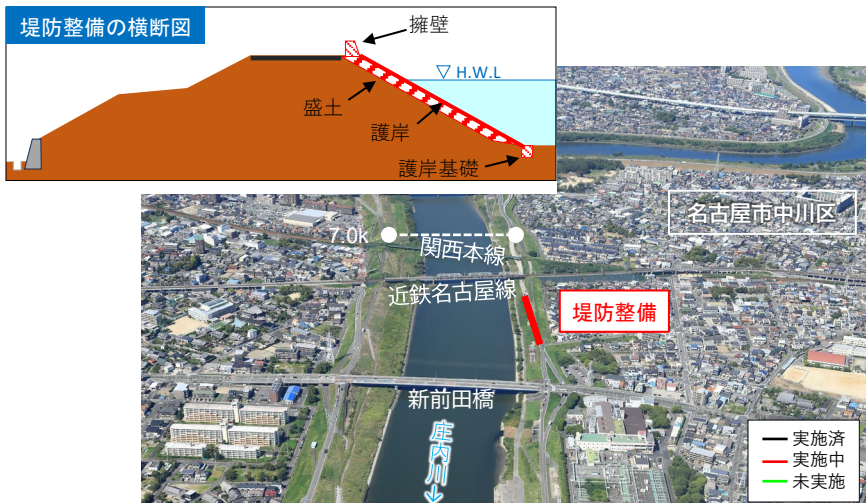
河道改修等の状況

河道改修等の状況

堤防整備(打出地区)

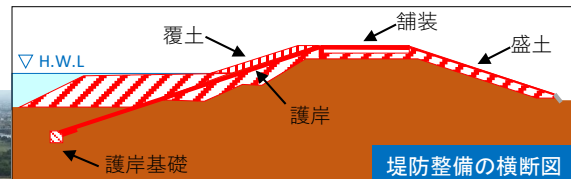
庄内川下流部の打出地区(河口から6.5~6.7k付近)では、堤防の高さや幅が不足しているため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防整備を実施。

堤防整備の横断面図



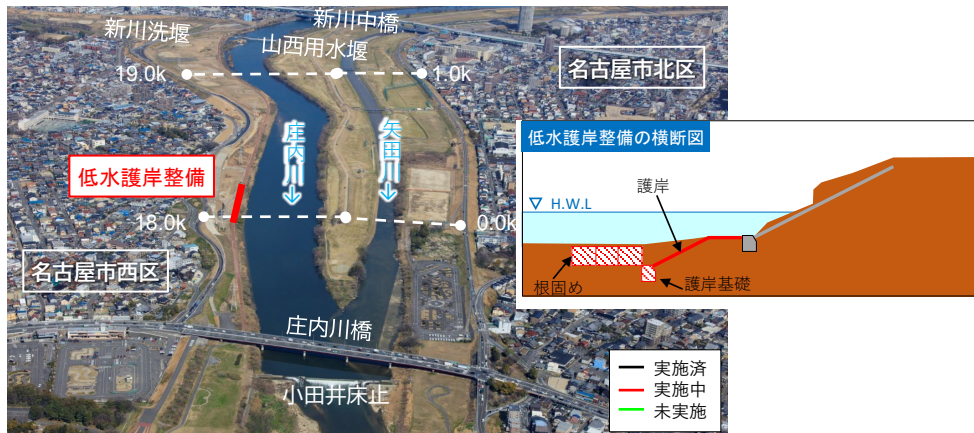
堤防整備(日比津地区)

庄内川下流部の日比津地区(河口から14.1~14.4k付近)では、堤防の高さや幅が不足しているため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防整備を実施。



低水護岸整備(山田地区)

庄内川下流部の山田地区(河口から右岸18.0~18.2k付近)では、水位低下対策に伴い既設低水護岸の根継ぎが必要となるため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための低水護岸整備を実施。



堤防整備(大野木地区)

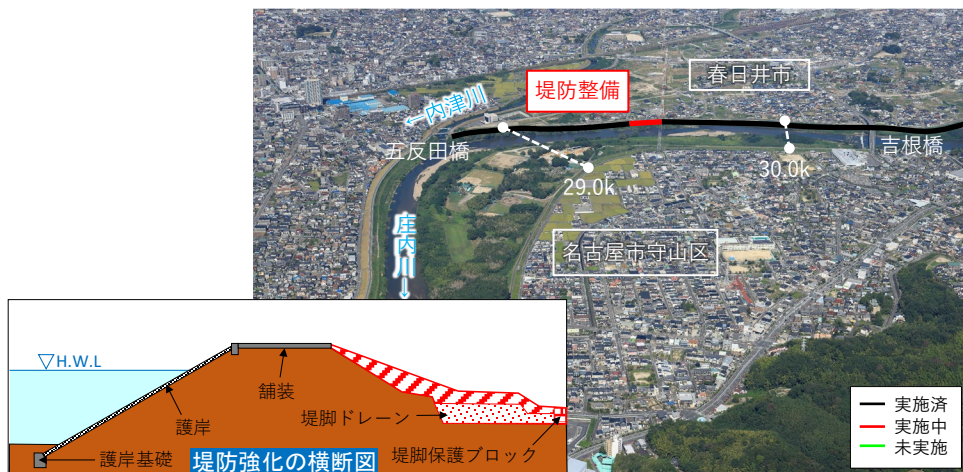
庄内川下流部の大野木地区(河口から右岸17.8~19.0k付近)では、堤防の高さや幅が不足しており、洪水を安全に流すことができないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防整備を実施。



河道改修等の状況

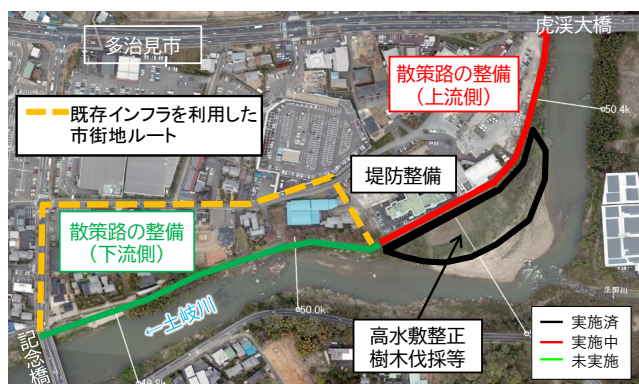
堤防強化(上条地区)

庄内川中流部の上条地区(河口から右岸29.0~30.6k付近)では、堤防の幅が不足しているとともに、浸透に対する安全性が不足しており、洪水を安全に流すことができないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための堤防強化(浸透対策)を実施。



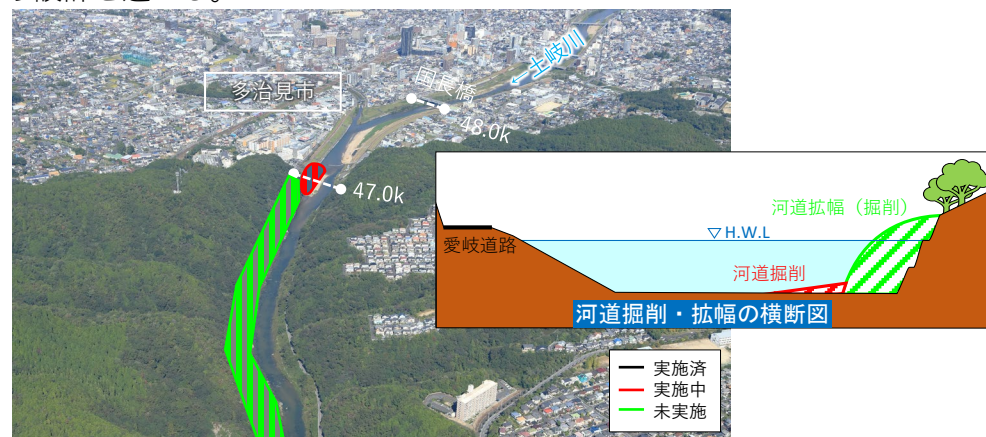
かわまちづくり(多治見市)

庄内川上流部の豊岡上流地区(河口から49.8~50.6k付近)では、土岐川上下流区間の連続性・観光拠点を含めたまち全体の周遊性や、新たな魅力創出を図るため「多治見市かわまちづくり計画(上流区間)」を策定。河川整備計画及び「多治見市かわまちづくり計画(上流区間)」に基づき、多目的空間や散策路の整備を実施。



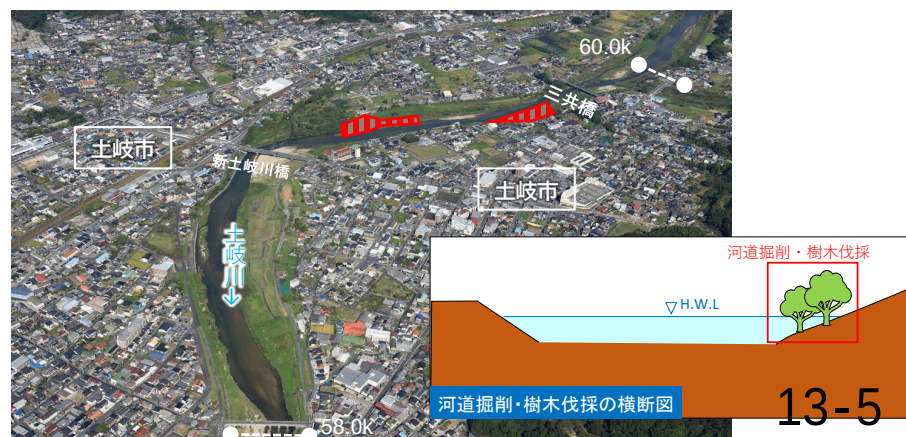
河道掘削(月見地区)

庄内川上流部の月見地区(河口から46.3~47.2k付近)では、平成元年9月洪水規模の洪水が流下した時に水位が上昇し、安全に流すことが出来ないため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るための河床掘削・河道拡幅を実施。河道拡幅にあたっては、環境や景観の保全に着目しながら設計を進める。



河道掘削・樹木伐採(泉地区)

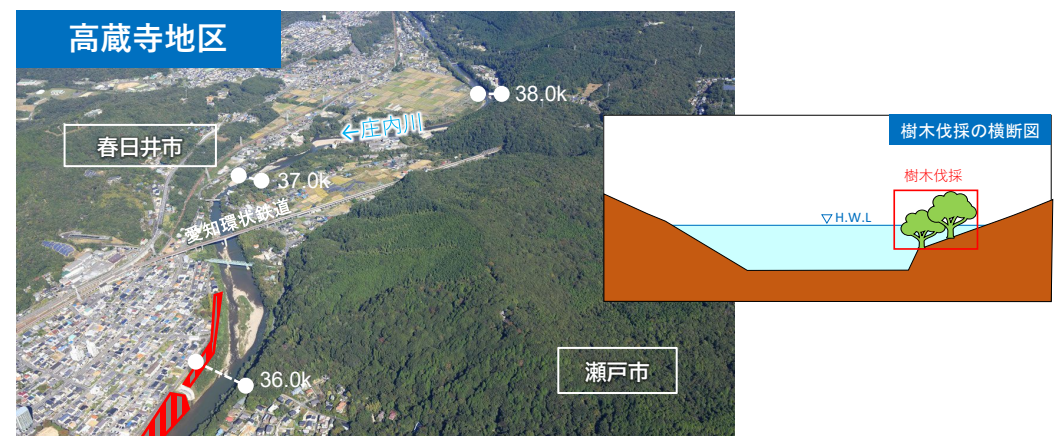
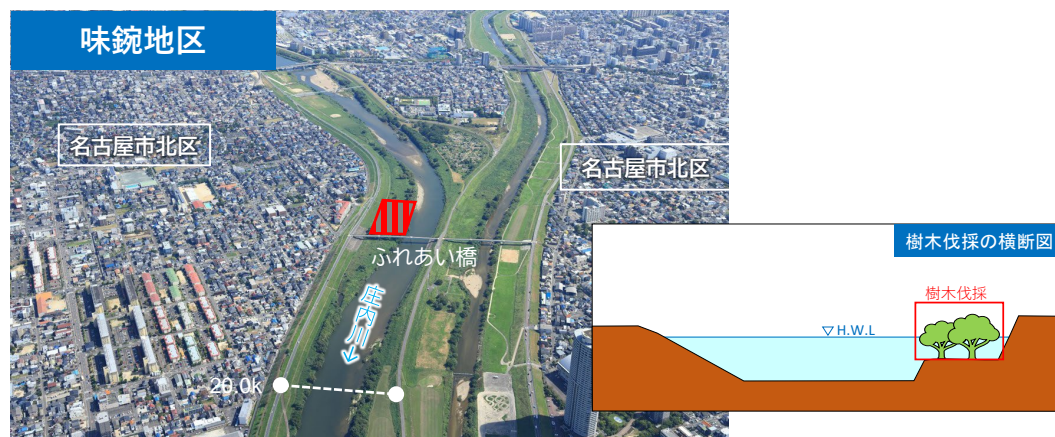
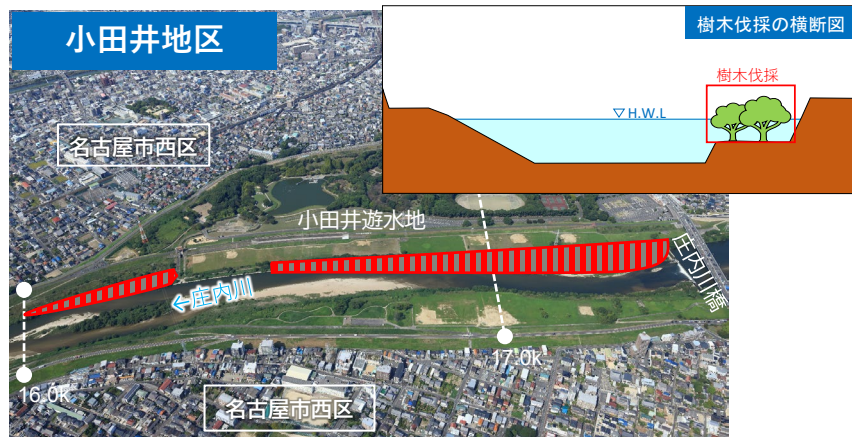
庄内川上流部の泉地区(河口から59.0~60.0k付近)では、河川に生えた樹木によって、河川の水が流れる断面が減少しており、出水時に洪水を安全に流すことが出来ないため、河川維持管理計画に基づき環境への影響を確認しつつ、河道掘削と樹木伐採を実施。



河道改修等の状況

樹木伐採(小田井・味鋺・吉根・高蔵寺地区)

庄内川において、河川に生えた樹木によって、河川の水が流れる断面が減少しており、出水時に洪水を安全に流すことが出来ないため河川維持管理計画に基づき、環境への影響を確認しつつ樹木伐採を実施。令和8年度は、小田井地区、味鋺地区、吉根地区、高蔵寺地区等にて樹木伐採を実施。



庄内川では植生している樹木の内、再繁茂の傾向が強い樹木については再繁茂状況の確認を行っており、その結果、樹種によって再繁茂の仕方が異なることから、樹種ごとに樹木伐採の方法を変え、再繁茂をしにくい施工を行うことで、維持管理費のコスト縮減を図っている。また、伐採した樹木の処分費等の縮減や樹木を資源として有効活用していただくため、工事の中で出た樹木について企業及び団体に無償で提供を行う、公募型樹木採取を実施している。

河道改修等の状況

庄内川特定構造物改築事業



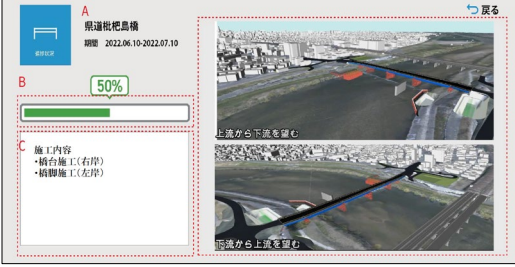
庄内川下流部の枇杷島地区（河口から14k付近）は、川幅が狭い狭窄部であるとともに桁下高が低く橋脚の間隔が狭い橋梁が連続して横河しており、洪水の流下に大きな支障が生じている。特に、平成12年9月東海豪雨では、県道枇杷島橋の桁下に洪水が衝突するなど危険な状況であった。

このため、河川整備計画に基づき治水安全度の向上を図るため、「特定構造物改築事業」により、引堤及びそれに伴う3橋梁の架替を実施中。



BIM/CIMの活用

県道枇杷島橋の架替にあたっては、三次元設計（CIM）を活用し、工程（時間軸）と関連付けた四次元工程表を作成し、図面等の確認や、施工ステップ毎の綿密な情報共有・調整に活用。さらに3次元モデルをARに変換して施工の現場で配置することにより、完成イメージや施工の進捗確認を分かりやすくする等、関係者間での合意形成に役立っている。



施工ステップ毎のイメージを3Dで共有し、関係者調整に使用



CIM×AR技術による事業進捗の見える化・合意形成の効率化

現在の進捗状況

- 架替工事中の県道枇杷島橋は、令和5年11月に仮橋への交通切り替えが完了し、現在旧橋の撤去中。令和7年6月には左右岸の旧橋台を撤去。
- 県道枇杷島橋の架替工事の進捗に伴って取り付け道路の施工を行い、これまで最も低かった県道橋近傍の右岸堤防を令和6年6月に嵩上げ。
- 鉄道橋2橋架替に向けて、現在概略設計を実施中。また、架替に先立ち鉄道橋近傍の堤防整備を令和8年度より実施。



県道枇杷島橋架替事業計画スケジュール

年度(令和)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
迂回路仮橋工												
旧橋撤去工												
新橋 下部工												
新橋 上部工												
道路工												

